



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <https://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦 義則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 敏幸

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,973	5.1	239		56		45	
2022年3月期第2四半期	4,188	25.8	160		185	710.7	121	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 81百万円 (48.6%) 2022年3月期第2四半期 157百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	33.78	
2022年3月期第2四半期	88.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,114	6,943	76.2
2022年3月期	9,764	6,999	71.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,943百万円 2022年3月期 6,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		67.50	67.50
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				67.50	67.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	1.1	300		150		180		133.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,460,000 株	2022年3月期	1,460,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	129,804 株	2022年3月期	102,604 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,338,815 株	2022年3月期2Q	1,373,590 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているなか、各種感染症対策やワクチン接種の普及等の効果もあり、水際対策の緩和等による経済活動の正常化が期待される一方で、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安による為替相場の変動、中国における経済活動抑制の影響による資源価格の上昇に伴う原材料価格の高騰は続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、主力の国内自動車用フロアマットの売上について、半導体部品不足等に伴う一部自動車メーカーの販売車両の供給制約が継続されている影響を受け、全体としては前年同期と比べて大きく減少いたしました。また、原材料価格の上昇やコンテナ不足の物流費上昇に加えて、海上輸送費の高騰からの高止まり等の影響を受け、販売価格への転嫁及び原価低減活動による採算改善を継続して努めてまいりましたものの、急速な円安による為替相場の変動及びそれに伴う輸入調達価格の上昇等が下押し圧力となり、回復が鈍化したことから利益面でも厳しい結果となりました。その結果、売上高39億73百万円（前年同期比5.1%減）、営業損失2億39百万円（前年同期は、営業利益1億60百万円）、経常損失56百万円（前年同期は、経常利益1億85百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円（前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純利益1億21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、91億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億49百万円の減少となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して7億62百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1億87百万円、受取手形及び売掛金の減少2億77百万円、棚卸資産の減少76百万円、未収入金の減少1億73百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1億12百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加77百万円、無形固定資産の増加37百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、21億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億94百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して6億7百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億45百万円、電子記録債務の減少27百万円、未払法人税等の減少50百万円、その他の減少1億83百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して12百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の増加10百万円でありあります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、69億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して55百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少1億36百万円、自己株式の取得45百万円、為替換算調整勘定の増加1億37百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14億43百万円と前連結会計年度末と比較して1億87百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失が54百万円、減価償却費1億96百万円、賞与引当金の減少18百万円、為替差益34百万円、売上債権の減少3億45百万円、棚卸資産の減少1億94百万円、仕入債務の減少5億36百万円、保険金の受取額2億3百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における資金の収入は1億13百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して1億42百万円の収入減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出2億62百万円、投資有価証券の売却による収入23百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は2億59百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して1億61百万円の支出増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入による収入1億円、長期借入金の返済による支出85百万円、自己株式の取得による支出45百万円、配当金の支払額91百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は1億12百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して69百万円の支出減少となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想については、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2022年11月10日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,630,959	1,443,759
受取手形及び売掛金	1,784,891	1,507,680
商品及び製品	976,081	718,661
仕掛品	147,185	169,338
原材料及び貯蔵品	796,294	954,996
未収入金	287,427	113,493
その他	123,032	75,616
流動資産合計	5,745,871	4,983,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	722,182	746,383
土地	1,842,844	1,842,844
その他（純額）	621,208	674,737
有形固定資産合計	3,186,234	3,263,966
無形固定資産		
土地使用権	190,751	221,449
その他	34,527	41,063
無形固定資産合計	225,278	262,513
投資その他の資産		
繰延税金資産	37,170	54,706
その他	569,446	549,273
投資その他の資産合計	606,617	603,979
固定資産合計	4,018,131	4,130,459
資産合計	9,764,002	9,114,007
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	778,303	432,315
電子記録債務	373,172	346,148
短期借入金	70,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	164,604	178,884
未払法人税等	63,959	13,371
賞与引当金	81,231	65,564
役員賞与引当金	8,430	—
その他	377,781	193,834
流動負債合計	1,917,482	1,310,118
固定負債		
長期借入金	434,847	435,063
繰延税金負債	38,647	38,871
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	37,514	39,631
退職給付に係る負債	52,853	63,445
その他	1,809	1,578
固定負債合計	846,974	859,893
負債合計	2,764,457	2,170,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,271,253	1,271,253
利益剰余金	4,009,848	3,872,994
自己株式	△156,330	△201,379
株主資本合計	6,366,471	6,184,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,123	20,795
繰延ヘッジ損益	—	1,687
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	108,084	245,428
退職給付に係る調整累計額	13,936	14,584
その他の包括利益累計額合計	633,074	759,425
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,999,545	6,943,995
負債純資産合計	9,764,002	9,114,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	4,188,810	3,973,647
売上原価	3,199,337	3,333,857
売上総利益	989,473	639,789
販売費及び一般管理費	828,669	879,518
営業利益又は営業損失(△)	160,804	△239,728
営業外収益		
受取利息	102	242
受取配当金	647	1,009
為替差益	21,631	176,052
その他	10,990	11,807
営業外収益合計	33,371	189,112
営業外費用		
支払利息	2,835	2,556
訴訟関連費用	3,360	—
その他	2,790	2,859
営業外費用合計	8,985	5,415
経常利益又は経常損失(△)	185,189	△56,031
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,649
特別利益合計	—	2,649
特別損失		
固定資産除売却損	185	1,058
特別損失合計	185	1,058
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	185,004	△54,440
法人税、住民税及び事業税	44,184	2,802
法人税等調整額	19,722	△12,013
法人税等合計	63,907	△9,211
四半期純利益又は四半期純損失(△)	121,096	△45,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	121,096	△45,229

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	121,096	△45,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,779	△13,328
繰延ヘッジ損益	—	1,687
為替換算調整勘定	42,920	137,344
退職給付に係る調整額	644	648
その他の包括利益合計	36,785	126,351
四半期包括利益	157,882	81,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,882	81,122
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	185,004	△54,440
減価償却費	122,057	196,124
賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,274	△18,090
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,252	2,117
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,525	△8,430
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,968	2,239
受取利息及び受取配当金	△749	△1,252
支払利息	2,835	2,556
為替差損益(△は益)	△2,279	△34,924
有形固定資産除売却損益(△は益)	185	1,058
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△2,649
売上債権の増減額(△は増加)	66,224	345,070
棚卸資産の増減額(△は増加)	85,461	194,506
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,220	△536,204
その他の資産・負債の増減額	△51,816	△124,419
小計	330,186	△36,738
利息及び配当金の受取額	1,059	1,252
利息の支払額	△2,946	△2,625
保険金の受取額	—	203,532
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△71,869	△51,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,428	113,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△97,886	△262,756
有形固定資産の売却による収入	2,949	2,877
無形固定資産の取得による支出	—	△12,165
投資有価証券の取得による支出	△621	△800
投資有価証券の売却による収入	—	23,966
保険積立金の積立による支出	△10,816	△11,351
保険積立金の解約による収入	—	587
差入保証金の回収による収入	8,278	—
その他	74	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,023	△259,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△88,000	10,000
長期借入れによる収入	125,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△98,856	△85,504
自己株式の取得による支出	△26,730	△45,048
配当金の支払額	△93,136	△91,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,723	△112,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,255	71,184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,062	△187,199
現金及び現金同等物の期首残高	2,333,075	1,630,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,327,012	1,443,759

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,590,189	1,598,621	4,188,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,590,189	1,598,621	4,188,810
セグメント利益	124,428	36,375	160,804

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,336,823	1,636,824	3,973,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,336,823	1,636,824	3,973,647
セグメント損失(△)	△215,049	△24,679	△239,728

(注) セグメント損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。